



あんずだより

❁冬号❁

令和2年1月

新年、あけましておめでとうございます。

今年は2020東京オリンピック YEAR！なんだか特別な一年になりそうな予感です♪

皆さんにとって幸多く素敵な一年となりますように・・・。

☆クリスマスコンサート☆

今回は毎年恒例となりましたクリスマスコンサートについてお伝えします(12月14日に開催しました)。コンサートは今回4回目で、地域の皆さんとのより深い交流を目的に開催されています。院長の清水マリ子先生のヴィオラ演奏や、あんず職員による人形劇等盛りだくさんな内容で、昨年もお好評いただきました。毎年多くの申し込みがあり、院長はじめあんず職員一同感謝申し上げます。



♪ノントンの人形劇♪



♪マリ子先生のヴィオラ演奏♪



♪あんばんまん体操♪



♪はらぺこあおむしのマグネットシアター♪



♪食べすぎてお腹が痛くて泣いているあおむし♪
マリ子先生が診察中です

☆子ども達の製作☆

今にもソリが動きだしそう！賑やかに保育室を飾ってくれました。こちら→
12月中はインフルエンザや溶連菌、水ぼうそうのお子さんが多く利用されました。
インフルエンザや水ぼうそうは、出席停止期間が長いために連続利用される方がほとんどです。利用3日目くらいになるとだいぶ元気になって、あんずでの遊びにも飽きてしまいます。飽きないようお家からお気に入りのおもちゃや本等ありましたら、持参していただいても結構です。





あんずだより

春号

令和2年5月

臨床診断での受け入れ

新型コロナウイルス流行にともない、日本医師会から「完全感染防護策がとれない一般医療機関では飛沫感染の危険がある検査を行わず、臨床診断（検査によらない診察）で治療をするよう」要請がありました。このため、福生市内のクリニックでも3月中旬ごろからインフルエンザ、溶連菌、RSウイルス、アデノウイルスなどの検査をなるべく行わない方針となっています。

この状況のもと、病児保育室あんずでは**臨床診断**（検査によらない診断）によって部屋割りを行っています。検査が出来ない為、他の病気の紛れ込みが心配な保護者様もいらっしゃると思いますが、当施設では可能な限り隔離室を使うなど、利用児どうし接触させないように対応しています（医師の判断によっては同室となることもあります）。お仕事がお休みの保護者の方も多い中、それでも預けなくてはならない方には、出来る限りお預かりするようあんずスタッフ一同体制を整えております。

他の病児保育室では、上気道炎（かぜ症状）のお子様は受け入れない、検査による診断名が確定していないと受け入れない、閉室等、それぞれの施設によって対応も様々ようです。今後の情勢によって、あんずでも対応を変更させて頂くことがあるかと思いますが、その際はホームページや予約時のお電話等でお知らせ致します。

その他、咳のある二歳以上のお子様と送迎される保護者の方は、必ずマスクの着用をお願い致します。



★初めてあんずを利用される方へ★

子どもの具合が悪い時、できれば仕事を休んで見てあげたいのに、急に休めないし、見てくれる人も頼れる人も近くにいない……。そんな時は、病児保育室あんずへ一度連絡をしてみてください。

あんずでは、生後6か月から小学校6年生までのお子さんをお預かりしています。風邪や、インフルエンザ、胃腸炎などの感染症のお子さんもお預かりすることができます。お子さんの症状や年齢に合わせた保育看護を行っています。

まずはお電話にてお問い合わせください。 病児保育室あんず [042-513-4158](tel:042-513-4158)



★引き続きあんずを利用される方へ★

昨年度利用されていた方は、4月から新年度になりましたので改めて登録書の提出をお願い致します。登録書・申込書は福生市ホームページや、しみず小児科内科クリニックのホームページからもダウンロードできます。他、しみず小児科内科クリニックの窓口やあんずにも置いてありますので、プリントアウトできない方は、お申し付けください。なお、登録は利用当日でも大丈夫です。





あんずだより

夏号

令和2年8月

～コロナ禍の中、病児保育室あんずにできること～

【今年は2020東京オリンピックYEAR！なんだか特別な一年になりそうな予感です♪】

これは、今年1月に出したあんずだより（冬号）の冒頭です。本来であれば大いに盛り上がっていたはずなのに、1月の時点で誰が今のような事態になると想像したことでしょう・・・。

☆彡やっとな夏を迎えた8月、新型コロナウイルスが収まる気配は残念ながら感じられません。これまで私たちはウイルスの脅威に怯えながら過ごしてきましたが、これからは、いかに共存していくかという方向に向かいつつあります。しみず小児科・内科クリニック清水マリ子院長の『あんず通信』にも書かれている通り、ほとんどの子どもは感染しても重症化しないことが判っています。敏感になり過ぎて大切な心を病んでしまわないよう、気を付けなければいけません。

☆彡コロナ禍の中、病児保育室あんずでは何が出来るのかを考えました。

☆彡全国の病児保育室の中には、休室や風邪症状のあるお子さんは利用不可といった措置を取っているところもあります。しかし、病児保育室あんずでは可能な限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しつつ現在も受け入れを行っています。もちろん新型コロナウイルス感染者は受入れ出来ませんが、保護者の方にはこういった中でも、なるべく安心して利用していただけるよう、あんず一同体制を整えています。

☆彡その他、【あんずだより特別号】を作成し、病気の時にお勧めの遊びや、病児保育室の情報、お薬の飲み方や咳で眠れない時の看護のポイント等、保護者の方へ向けて様々な情報発信をしています。バックナンバーはしみず小児科・内科クリニックのホームページからご覧になれます。コロナ禍の中、病気になったお子さんを自宅で保育看護する機会も多いかと思います。そういった時に、少しでもお役立て頂ければ幸いです。



発行： 2020年8月4日 病児保育室あんず





あんずだより

秋号



～あんずの保育看護～

令和2年11月

私たちあんず職員は、お子さんが帰られる時、つい「またね」と声をかけてしまいそうになります。病児保育室では「またね」＝「また病気になってね」という意味合いになりかねないので、そこはぐっとこらえて、「お大事に」と声をかけています。でも多くのお子さんは、「また来るねー！」「また明日～！」と笑顔で答えてくれるので、そんな時は「また病気になった時は来てねー」と声をかけています。

あの子元気にしてるかな？久しぶりに会いたいな・・・と思っても、大声で「皆さんどんどん病気になって病児保育室に来てください！！」とは言えないのが病児保育室です。でも本当は会いたい気持ちでいっぱいです。なので、久しぶりの予約が入ると、職員皆で心配しつつも内心ワクワクしながら待っているのです。

あんずに預けて新発見？！



あんずではお迎え時、お子さんの様子を詳しくお伝えしています。病児保育室は通常、個別、又は少人数での保育を行っています。ですので、職員が一日中お子さんと一緒に過ごすと、保護者の方も知らないお子さんの様子を発見できる場合があります。例えば、「今日お母さんがわたしの為に朝早起きして、美味しいお弁当作ってくれたんだよ」と嬉しそうに話していましたよ。と帰りにお母さんにお伝えすると、「そんなこと一度も言われたことないのに、そんな風に思ってくれてたんですね」と嬉しそうなお母さん。一日ブロック遊びに夢中な男の子。とても立派な作品を作り、お母さんが来るまで壊さないで！と帰りに見せるのを楽しみにしていました。それを見たお母さんは「こんなに凄いのが作れるの？！家にはないおもちゃだし、こんなの作れるなんてびっくりしました」と感動して写真を撮って帰られます。小さなお子さんでは、初めての一步をあんずで発見してしまったこともあります。一日そばで保育看護していて気づいたことや感じたこと、気をつけたいポイントなど、お家に帰ってからも家庭看護に繋げていけるよう、お子様の様子をしっかりと記録し、お伝えしていきます。

あんずもすっかり秋仕様



現在病児保育室あんずでは、子ども同士が同じ部屋にならないよう、できる限り個別対応をとっています。しかし、今後利用児が増えてくると、同じ病気のお子さん同士、同室になる可能性もあることを、ご了承ください。なるべく多くの方が利用できるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

